

## 湖北圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会

### 第7回協議会 報告

日 時：平成 28 年 3 月 25 日（金） 14:00～16:30

場 所：滋賀県 湖北合同庁舎 1 階 第一会議室

本協議会では、湖北圏域の2市（長浜市、米原市）が国、県とともに、専門的な学識経験等に基づく助言を受けながら、姉川、高時川等の洪水被害や土石流危険渓流等からの流出土砂による被害を回避・軽減するための対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図ることを目的としています。

#### 1. 開会

会長の大塚副市長（長浜市）より、「テレビ等の報道関係で5年前の東日本大震災についてよく耳にしていると思う。滋賀県では、平成25年の台風18号において、京都府、滋賀県、福井県で全国初の特別警報が発表され、各地で甚大な被害が発生した。また、平成26年には広島県の土砂災害、平成27年には鬼怒川の堤防決壊が記憶に新しいと思う。



今後、施設の能力よりも上回る洪水被害が頻発することが予想される。鬼怒川の堤防決壊被害を受けて、事前に備えておくことが重要ではないかと思う。水害、土砂災害に立ち向かうには、正しくリスクを理解し、平時から災害に備えることが不可欠である。住民の方の行動が上手く機能するための議論をしていきたいと思っている。」との挨拶をいただきました。

#### 2. 主な議事

これまでの取組内容と今後の検討内容(案)について

防災情報 WG

水害に強い地域づくり計画 WG

土砂災害に強い地域づくり計画 WG

長浜市・米原市地域防災力向上の取り組み

#### 事務局の説明

##### (1) 防災情報WG

平成23年度に設置した7箇所の簡易水位計による水位観測を引き続き行い、避難勧告マニュアル改訂を踏まえた「越水」に関する水位の見直しを行いました。また、米川水防

行動マニュアル、米川水位簡易予測モデル（案）を作成するなど、昨年度挙げられた水防災に関する課題のうち優先度の高いものから取り組みました。

## (2) 水害に強い地域づくり住民WG

米原市村居田地区では、避難カードの作成を通じた避難計画の検討、および浸水警戒区域に関する現地確認や意見交換を行いました。また長浜市虎姫地区では水害に強い地域づくりのきっかけづくりとして、出前講座を実施し、住民との意見交換を図りました。

長浜市馬上地区では水害履歴調査を実施し、長浜市醒井地区については、水害に強い地域づくりの進め方について説明を実施しました。

## (3) 土砂災害に強い地域づくり住民WG

米原市伊吹地区、長浜市余呉町下余呉地区において、砂防出前講座を実施しました。

## (4) 長浜市・米原市における地域防災力向上の取り組み

長浜市では、自治会、158自主防災組織にて、図上訓練を実施し、今後も継続的に進めていくことを提案しました。また、米原市では、鬼怒川の決壊に伴う緊急周知や自主防災組織の役員、米原市消防団等を対象に防災リーダー研修会を実施し、「危険度把握と情報収集」「人材育成・組織力強化」「人材育成・組織力強化」「訓練を通じた検証」の4分野で地域の力を高めるためのアプローチを実施しました。

## 質疑応答・意見交換

各委員から様々な意見が出ました。以下に、主な意見を示します。

- ・越水の水位設定の見直しについては、浸透や侵食の基準とは別に考えていく趣旨である。越水については、堤防天端から見たリードタイム2時間の基準時間を設けて、避難勧告の目安としている。氾濫危険水位は、過去10年間で3回ほど勧告を出しており、避難判断水位なら頻繁に達する状況のため、より現実的な判断をしたいという趣旨である。
- ・米川行動マニュアルについては、検討対象となる洪水データは3つしかないため、来年度以降も洪水データの蓄積を継続し、判断基準の指標はブラッシュアップしていく。
- ・滋賀県、長浜市、米原市の取り組みについては、情報共有を行う体制を検討する。
- ・滋賀県のTランク河川については、ソフト対策として、立ち退き避難ゾーンを明示した上で、河川整備として、地域での避難時間確保という観点から危機管理型ハード対策を検討していただきたい。
- ・浸水警戒区域に指定しようとする箇所については、補助について説明し、具体的に検討



を進めていくべきである。

- 米原市村居田地区の取り組みについては、非常に効果的な防災マップだと思うが、どこ逃げマップに関しては、人によって内容の捉え方が変わる可能性があるため注意が必要である。住民の方に公開する際は、まずはまとめただけという提示が重要で、徐々に防災マップを更新していくプロセスについて提示すべきである。
- 長浜市、米原市の取り組みについては、災害対策基本法の改正における地区防災計画の枠組みに当てはまると考えており、地域の中でできること、やっていくことをボトムアップで作るという理念は良いと思う。地区ごとに防災計画の温度差、色合いが違っていても問題はなく、行政が主導で作った固い計画ではない多くの意見を反映した地区防災計画を検討する。
- 地区防災計画については、各市で補助やインセンティブを与えるなどを行って、まとめ上げてほしい。これによって地区防災計画の作成が活発になれば良いと考えている。
- 河川整備のスケジュールを示すことが重要であると考えているが、現在Aランク河川7箇所での河川整備計画（案）を策定中である。ハード対策だけでなく、ソフト対策も並行していく旨を十分に説明していきたいと考えている。
- 湖北圏域河川整備計画において、計画的に河川整備を図る区間が長い箇所もあるため、来年度の取り組みでは、要注意ポイントを絞っていく必要があり、平成29年度の事業着手を目標に進めていく。

### **3. 閉会**

滋賀県流域治水政策室の辻室長補佐から、「今回の課題をふまえて、今後の水害・土砂災害に強い地域づくりに取り組んでいきたい。」との閉会挨拶を行いました。